



# 耐久高等学校PTA会報

# ほほえみ

編集発行：耐久高等学校PTA 発行責任者：奥田卓功 発行日：平成28年7月15日  
耐久高等学校 <http://www.taikyū-h.wakayama-c.ed.jp/>



▲ 入学式



文化祭PTAバザー▲

▼ PTA総会



# No.47



PTA会長 奥田卓功

## より積極的な PTAに

今年度も引き続き、PTA会長をさせていただくことになりました。これまでの知識と経験を活かし、今後も頑張っていきたいと考えています。

さて、耐久リバースも2年を経て、改革を推進した結果という形で見られるようになります。明らかに子ども達の挨拶や行動がよくなったと思います。また、周辺からも「耐久、頑張っている」「いろいろ取り組んでいる」といった声を耳にするようになりました。耐久リバースは校長先生のリーダーシップと先生方の努力なくして語れませんが、この現状の維持と増進、更なる進化に向けてサポートしていくのがPTAの役目だと考えています。

6月に開催となった耐久祭でも、前日の準備から当日のバザー・PTAカフェに精力的に参加していただき、連携と協力により結束を深めることができました。耐久祭には2年ぶりの参加でしたが、子どもたちと同じ場所と同じように雨に濡れながら、同じ時を過ごせるということは、PTAの役得だと思えます。また、耐久祭では頭の中で高校生当時の自分がたびたび蘇り、今の前にいる子ども達のシーンとリンクし、高校生として耐久祭をやっているような、溶け込めているような感じを体感することができました。何とも言えない心地よい感覚でした。今年参加して本当によかったですと思っています。

私の着任と同時に入学した生徒が最終学年を迎えました。この間、学校改革に大きく舵をきることが出来たのは、彼らの大きな可能性と優れた対応力を感じ取ったからです。生徒の頑張り、教員の実績な取組、PTAのご理解とご協力が相まって、本校の教育は確実に引き締まり、前向きな雰囲気随所に感じられるようになりました。



学校長 清水博行

## 耐久リバースの 第2章へ向けて

員・学校にも当てはまりません。

しかし、怯むことなく困難に立ち向かう気概があれば、全て解決できるという単純な社会が待っているわけではありません。今、世の中は、協働できる人を求めていると言われています。このことに関して、思想家（神戸女学院大学名誉教授）内田 樹氏の『街場の教育論』に、大学のゼミの学生を選考する面接に係るくだりがあるので紹介します。

「学内での会議が延びて、研究室で行う面接時間に遅れてしまい、『ごめんね、遅くなって』と詫びてドアを開けようとしたら、『ちえ』と小さく舌打ちした学生、これは瞬間的にペケ。『私、次に授業があるので、最初に面接してくださいませんか』といきなり言い出す学生もペケ。知り合いを見つけて、あたり構わずおしゃべりを始めるのもペケ。どれほど知力に優れてい

ようとも、ゼミの対話的、互恵的な雰囲気壊すような学生、ゼミの全員が気分よく勉強する妨げになる可能性があれば、採りません。ゼミは競争の場ではなく、協働の場なのです。個人的に能力が高くても、集団のパフォーマンスを上げることに貢献出来ない人は、受け入れられないのです。」（一部、省略加筆しています）

専門的知識や技術をしっかりと持った上で、時や場面、メンバーによって、リーダーシップやフォローシップ、パートナーシップを發揮し、共同体（みんな）の機能や成果を最大限に高めることに貢献出来る資質・能力を有した人、競争ではなく協働できる人が求められています。

4月に実施したロンハイや6月の文化祭への取組を見ていると、生徒に協働の素地が着実に育っていると感じます。今後も、耐久高校の持つ力を最大限に活かして、生徒一人一人の協働性を高める教育を充実してまいります。

保護者の皆様方には、引き続き、子供の成長への積極的な係わりと、学校・教職員との協働をお願いいたします。



# 1学年の指導・取り組みについて

1学年主任 兵衛和樹

「耐久高校は勉強する学校です」。合格者説明会におけるこの言葉から、今の1年生は始まりました。生徒一人一人が毎日の勉強、クラブ活動等に精一杯頑張っていて、充実した耐久高校生を送っていると思います。

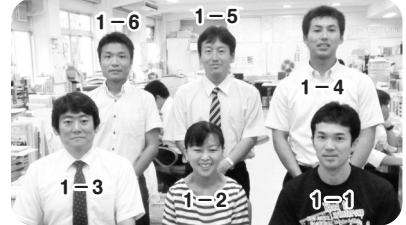
4月末のロングハイキングを通して、中学生から耐久生へ大きく成長しました。30キロ以上の長い道のりをクラス・友達と歩き切った達成感、宿坊や集団行動で学んだ挨拶や礼儀・マナー等、ワンランク上の品格や立ち居振る舞いを高野山から持ち帰ってきたように思います。

1学年は高校生活の3分の1ではなく、高校生活3年間の充実や将来展望を左右する大事な時期で、一人一人が自信と勇気を持ち、高い目標に果敢に挑むマインドを作る期間です。「最初が肝心」という言葉のとおり、1学年を「すばら」に過ごしたら、残り2年間で立て直すことは極めて困難です。小テストや提出物等日々の積み重ねは、大きな力を産み出します。努力した時間は倍返し、三倍返しとなって自分の将来(進路)に跳ね返ってきます。自分の可能性を信じると共に、「耐久高校の可能性を信じ、「耐久高校で頑張ったよかったなあ」と言える日が来ることを心待ちにして、1学年の教員は生徒とともに頑張っていきます。

## 保護者からの一言

1学年副部長 土岐由美

入学してまだ3か月ですが、先日の文化祭では1年生から3年生まで各クラスが一致団結して懸命に取り組みされている様子が伝わり、大変感動しました。先生方には日頃より面談等で子ども達一人一人に目を配っていただき感謝しています。勉強やクラブ活動など日々の高校生活を大切に、やがて子ども達それぞれ自分の希望する進路を見つけ進んでいけるよう願うと共に保護者もしっかり見守っていききたいと思っています。  
(1学年部長の川島氏が特別部長を兼任のため、副部長の土岐が綴りました)



兵衛 和樹 (数学) 山崎 太幹 (英語) 前山 友祐 (理科) 前川 誠 (英語) 中南 典子 (数学) 庄田 光敬 (保健)

# 2学年の指導・取り組みについて

2学年主任 岡本剛典

「自らの言動に対して、責任感を強く持つ」、「自ら学び、自ら関わる意識を向上させる」を学年目標として、新たなスタートを切った2学年です。

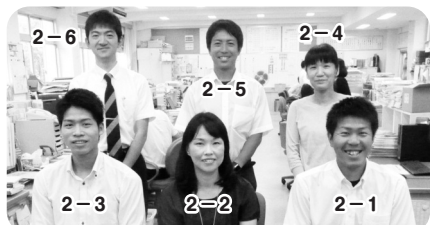
日に日に、諦めない強い気持ちで身に付いてきたと感じています。朝早くや放課後に職員室前に設けられた自習スペースで前向きに勉強に励む姿は、今やありふれた日常の光景となっています。耐久祭では、限られた時間の中で、どのクラスも力を合わせ、予想をはるかに超えた、質の高い舞台発表に仕上げてくださいました。時には方向性をめぐって意見が合わず紛糾したこともあったようですが、それも高校時代に必要な経験であると思います。苦勞して何かを手に入れたときの達成感は何物にも代えがたいものです。

来る日も来る日も「すべきこと」に追われていると感じているかもしれません。でも、「すべきこと」に立ち向かわなければ「できたこと」は増えていきません。「できたこと」は自信になり、本物の「したいこと」に繋がっていきます。薄っぺらい「してみたいこと」ばかりを繰り返していても、人間としての裾野は広がりません。これからは現実から目を背けず、自らの可能性を信じて突き進むことを期待します。私達2学年の教員はとことん、生徒に関わっていきます。

## 保護者からの一言

2学年部長 松本耕次

高校生活にも慣れ、気持ちがちになつてしまふのが2年生なのかもしれません。子ども達には去年1年間で努力してきた事を忘れず、胸を張って3年生になれるように頑張してほしいと思います。  
先生方には、より一層子ども達が成長できるようにご指導宜しくお願い致します。子ども達の道標になつてくださるよう期待しています。



岡本 剛典 (英語) 片山 隆博 (数学) 深渡 直子 (家庭) 井畑 直樹 (理科) 稲葉 弘子 (音楽) 前田 将太 (国語)

# 3学年の指導・取り組みについて

3学年主任 嶋田裕子

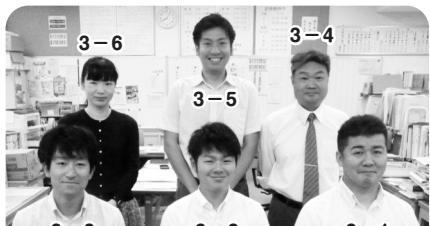
早いもので最終学年となり、各人が進路実現に向けて全力を尽くさなければならぬ時がきました。入学以来、何事にも一生懸命に取り組み、充実した高校生活を送っていると感じています。6月に行われた文化祭で、どのクラスも限られた準備期間で工夫を凝らし、あいにくの雨天にも負けずに模擬店を成功させることができました。行事を通じ、最終学年のクラスの団結力は格段に強まりました。

進路実現に向けても、高い目標を持ち、粘り強く学習に取り組み、それぞれの将来を切り拓いていって欲しいと思っています。受験勉強は決して楽なものではないので、思うようにはかどらなくてイライラしたり落ち込んだりすることもあります。しかし途中で諦めたり妥協したりせず、強い信念を持って最後まで第一志望の進路実現に向けて全力で励んで欲しいと願っています。まずは夏休みの過ごし方が大きな鍵となってきます。補習や自習室などを利用して、基礎を確実に定着させ、実力をつけていって欲しいと思います。われわれ教職員も全力でサポートさせていただきます。

## 保護者からの一言

3学年部長 中尾美保

入学してから早いもので3年生になりました。耐久祭が始まり赤点ラインが引き上げられ、厳しい中で部活もがんばってきた子ども達ですが、残り少ない高校生活を悔いのないようにしてほしいと思います。いよいよ将来へ向かって進路を決める時が来ました。先生方には、親ではできないサポートをお願いし、一人でも多くの生徒が希望する進路に進めるよう、私たちが連携を密にしながら頑張っていきたいと思っています。どうかよろしくお願いします。



嶋田 裕子 (英語) 後藤 真吾 (理科) 柴田 秀作 (国語) 岸山 裕之 (地歴・公民) 玉置 将人 (地歴・公民) 坂田 智也 (数学)

### 平成28年度 P T A役員体制

#### P T A 本部役員

| 学年組 | 役職名    | 氏名    | 専門部  | 学年組 | 役職名    | 氏名    | 専門部 |
|-----|--------|-------|------|-----|--------|-------|-----|
| 1-2 | 会長     | 奥田 卓功 | 人権健全 | 1-1 | 副会長(新) | 西口 操  | 進路部 |
| 3-2 | 副会長    | 中井 康智 | 進路部  | 3-6 | 会計     | 大谷史寿代 | 総務部 |
| 2-5 | 副会長    | 久保 和良 | 進路部  |     | 会計     | 小嶋真理子 |     |
| 2-3 | 副会長(新) | 豆塚 充  | 総務部  |     |        |       |     |
| 2-1 | 副会長    | 松岡真規子 | 総務部  | 3-1 | 会計監査   | 岸部真紀子 | 進路部 |
| 1-2 | 副会長(新) | 桑山 吉美 | 人権健全 | 2-6 | 会計監査   | 則藤 善保 | 進路部 |

| 総務部  | ●学年部長 ★副部長 ◎専門部長 ○副部長  |  |   |
|------|------------------------|--|---|
|      | 評 議 員                  |  |   |
| 本部役員 | 1 年                    | 2 年  | 3 年   |
|      | 豆塚 充<br>松岡真規子<br>大谷史寿代 | 有本 恭子 (1)<br>○中村 司 (1)<br>古川 理香 (1)<br>田伏 理恵 (2)<br>帽子百美香 (2)<br>村田 美香 (2)<br>井上 千里 (5)<br>古田 順子 (6) | 玉置 和身 (1)<br>●松本 耕次 (1)<br>★小世木 修生 (2)<br>◎磯岡 幸夫 (4)<br>玉置 正美 (4)<br>川口 益男 (5)<br>畑中 博之 (5)<br>石田 忠 (6) |

| 特別部  | 評 議 員  |  |  |
|------|--|--|--|
|      | 1 年  | 2 年  | 3 年  |
| 本部役員 | ○●川島 忠弘 (1)<br>的場わか子 (1)<br>★土岐 由美 (3)<br>梅谷 惠子 (4)<br>小澤 守史 (4) | 武田 宏三 (2)<br>田中 志麻 (2)<br>○平野 和寛 (2)<br>坂本 行功 (3)<br>北 記代美 (6) | 栗山 勝好 (1)<br>竹田 勝美 (1)<br>仲江 彦 (1)<br>直江 和彦 (4)<br>吉田 美香 (6) |

| 進路部  | 評 議 員         |   |  |
|------|---------------|---|--|
|      | 1 年           | 2 年   | 3 年  |
| 本部役員 | 久保 和良<br>西口 操 | 田中 尚子 (1)<br>井本 照美 (4)<br>西畑 史子 (5)<br>○最明 尚美 (6) | 有南 将 (2)<br>治 (3)<br>福本 重臣 (6)<br>◎雑賀 善保 (6)<br>則藤 (6) |

| 人権健全育成部 | 評 議 員  |   |  |
|---------|--|---|--|
|         | 1 年  | 2 年   | 3 年  |
| 本部役員    | ○成川 公子 (1)<br>梶原かおり (3)<br>中山 初子 (5)<br>竹田 邦子 (6)<br>萬谷 欣彦 (6) | ◎青藤 寿美 (2)<br>青石 光仁 (3)<br>久保田裕士 (4)<br>木原 慎也 (5)<br>中尾 智子 (6)<br>山中 茂季 (6) | 池邊 公生 (2)<br>川崎 朗広 (4)<br>大西 伸英 (5)<br>安積 浩美 (6) |

## PTA&学校の活動

- 4月6日 PTA会計監査
- 8日 入学式・始業式
- 20日 PTA本部役員会
- 27日～28日 ロングハイキング(1年)
- 5月6日 第1回PTA役員会
- 13日 PTA役員特別部会
- 20日 PTA定期総会、学級懇談会
- 6月3日 PTA役員総務部会
- 15日 PTA役員特別部会
- 16日～17日 耐久祭(文化祭)
- 17日 PTA特別賞授与(展示・舞台・模擬店の3部門)
- 7月3日 近畿地区高P連大阪大会(大阪市)
- 8日 PTA役員総務部会
- 15日 PTA会報「ほほえみ」第47号発行

- 20日 一学期終業式
- 20日～22日 三者面談
- 20日 PTA拡大本部役員会
- 25日 大阪府立大学オープンキャンパス
- 25日 二学期始業式
- 26日 全国高P連千葉大会(千葉市)
- 9月中旬 芸術鑑賞会
- 9月中旬 学年懇談会
- 10月13日～14日 ロングハイキング(2年)
- 11月上旬 第2回PTA役員会



文化祭PTA特別賞

## 入学式・対面式

4月8日(金)、平成28年度入学式が執り行われ、201名の新入生が入学を許可されました。校長先生から「学校は、夢や希望を強く持つて、心を素直に学ぶ所です。高校生活のスタートにおいて、皆さんは、高校3年間で大きく変わる、成長できると思えることが大切です。自ら学びたい、変わりたい、成長したいという皆さんの思いを耐久高校は、最大限に応援します。」とのエールを込めた式辞を贈られました。

また、来賓の奥田PTA会長は「失敗は人を賢く、優しく、強く前進させるという最良の経験です。失敗を恐れることなく皆さんのことにチャレンジしてください。」との祝辞が贈られました。

新入生代表の山本舞さんが「耐久生としての自覚と誇りを持ち、何事にも精一杯努力することを誓います。」と宣誓しました。

引き続き行われた対面式では、生徒会役員やクラブリーダーが中心となり「校歌指導」が行われました。最後は全校生徒による校歌の大合唱となり、新入生の門出を祝福する素晴らしい一日となりました。



## 文化祭のPTA催事を企画して

特別部長 川島 忠弘

今年は2年ぶりに文化祭のPTA催事として、熊本地震支援・PTAバザー&カフェを企画・運営しました。個人的には息子が今春入学し、初めての文化祭・PTA活動となりました。

6月開催という事で準備期間が短い中、平日の夜、会議を重ねてきました。特別部に加えて他の専門部の方々にもご協力いただき、企画がスタートしました。会議を重ねるたびにチームワークが上がり、悪条件となった雨の文化祭本番でも、力を結集して成功を収める事が出来ました。その結果、60,782円の収益があり、熊本地震支援金として、和歌山県共同募金会を通じて「ボラサポ・九州」に募金をさせていただきました。

ご協力をいただいた全ての皆様、心よりお礼を申し上げます。



カフェ



# 平成28年度 PTA総会

## ポスターセッション

5月20日(金)保護者136人が出席してPTA総会が開催されました。今年は4部構成で、第1部は4時間目12時45分から授業参観、第2部は体育館で14時から総会議事、第3部は引き続き体育館でポスターセッションを行いました。体育館に4つ(進路・学習・生徒指導・生徒支援)のコーナーを作り、それぞれにおいて分掌長の先生等がパネルやビラ、パワーポイントなどを用いて10分程度の説明を行い、その後、5分程度で保護者の質疑に答える形式でした。保護者は希望する3つのコーナーを回ることができました。第4部は各教室での学級懇談会(学年懇談会)でした。



### 進路部セッションに参加して

寺村 みゆき

「進路コーナー」では、生徒の進路希望状況の説明があり、各学年の学力調査や実力テストの結果が報告されました。そして、今年度の3年生を国公立大学に40名以上合格させること、関関同立へ一般入試で合格させることを目標に取り組んでいくとのことでした。

家庭でも起床時間・学習開始時間・就寝時間を定着させ、子どもが生活リズムを確立できるようサポートしていきたいと思います。そして、将来に向けて、最後まであきらめない事など話し合っていくつもりです。継続するのは大変ですが、一緒に進路実現を目指して頑張っていきたいと思いました。

### 教務部セッションに参加して

清水 富美子

教務部セッションでは、成績評価の仕組みや教育システムのねらい等について、お話を伺いました。

成績評価は、定期検査点(RE点)と学習活動点(LA点)で決まりますが、それらの分布図を用いた詳しい説明を受け、成績評価基準への理解が深まりました。評価においてLA点を重視するのは、日々の授業や家庭学習で、①自主的に学び②努力を積み重ね③学力を定着させる ためです。

学習の習慣化は容易ではありませんが、まずは、「三点固定」(「起床」「家庭学習開始」「就寝」の時間を毎日同じにする)の実践から子どもに勧めてみたいと思います。



### 生徒支援部セッションに参加して

小世木 愛

生徒支援コーナーでは、クラブ活動と学校行事について説明してくださいました。

まず、クラブ活動についてですが、近年、運動部・文化部共に加入率は上昇しているそうです。ほとんどの生徒がクラブ活動を頑張っているとのことでした。戦績は例年並みで、近畿大会や全国大会にも出場して、活躍しています。クラブと勉強の両立は大変ですが、しんどいからと簡単には辞めさせないようにして、この続ける努力が、今後苦難を乗り越える忍耐力となるので、両立を目指して頑張っています。

学校行事については、協同的な活動をとおして学校生活の活性化と集団作りを図ることを目指しています。文化祭は、クラス作りとの位置づけのもとに、6月に開催されました。



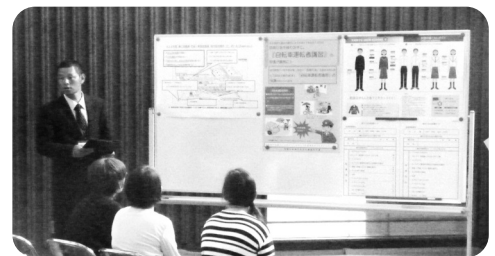
### 生徒指導部セッションに参加して

秦 小百合

「品格のある生徒の育成」と題して、登校・携帯・制服の指導と交通安全等のお話を聞きました。朝の登校指導には生徒も参加した結果、遅刻がなくなり、挨拶も自発的にできるようになったと、うれしい報告がされました。このように、耐久高校で学生生活を送れるのも、先生や生徒会の皆さんの日頃のご尽力の賜です。

以前に参加したPTA指導者研修会で、外部講師の先生から自転車事故のお話を伺いましたが、道路交通法が厳格化されています。もし、朝遅くなくても理由を学校に連絡して、あわてず事故にあうことなく登校してほしい。一度の遅刻より一生を大事にしてほしいです。でも、そんな時に便利な携帯も、一つ間違えば事故等に発展しかねません。

ご家族でも、今一度、子どもさんと「品格のある生徒」について話し合ってください。



今回のポスターセッションについては、6月29日の本部役員会で次の感想や意見が出されました。

- ・ポスターセッション、ぜひ来年も実施して欲しい。
- ・4つのうち3つを選ぶのではなく4つとも聞きたかった。
- ・先生を身近に感じて、質問もしやすかった。
- ・総会議事を短くして、この時間を多く取ってほしい。等

# PTA本部役員からの報告です



## PTA研修旅行に参加して

特別部長 直江 京子

保護者 磯 岡 理 恵

2月13日(土)、PTA研修旅行が実施されました。参加者が20人あり、雨天にもかかわらず、楽しい時間を過ごすことができました。

最初に、ダスキンミュージアムに行きました。この建物の中にミストキッチンがあり、ちょうど子供たちがドーナツを作っていました。二階に行くと、ダスキンの掃除用具が展示され、その用途など説明があり参考になりました。昼食はバイキングで、和気あいあいとした中で先輩のお母さんたちから子どもの進学などの話が聞けたりして、いろいろ勉強になりました。

午後からは、大阪万博公園内にあるニフレルへ行き、目の前の動物たちを間近に見たりしながら(体感しながら)見学しました。こちらも有意義な時間を過ごすことができました。

研修旅行には初めて参加させていただきましたが、とてもよかったです。本当にありがとうございました。



2月13日(土)、PTA研修旅行に参加しました。

一箇所目は、ダスキンミュージアムの見学でした。「おそうじヒストリー」では、歴史を感じるお掃除グッズを見る事ができました。ホコリの見える体験では、空気中に漂うハウスダストを目で見、呼吸をするのが少しためられました。「おそうじ豆知識」も展示されており、これからの家事に役立ってくれそうです。

二箇所目は、エキスポシティの『ニフレル』でした。色鮮やかな魚や周りと同じ色に変化する生き物などのゾーンから始まり、見ている飽きない不思議な7つのゾーンをめぐりました。中でも、通路の上で寝そべっているホワイトタイガーの大きさはビックリさせられました。

あいにくの雨でしたが、PTAの皆さんとも交流ができて、楽しい1日を過ごす事ができました。

## 第42回近畿地区高等学校PTA連合会 大阪大会に参加して

会計 大谷 史寿代

第42回近畿地区高等学校PTA連合会大会が、7月3日(日)大阪国際会議場にて開催されました。耐久高校からは、事務長と本部役員8人が参加しました。

特別講演では、講演テーマが「生きる力の源泉〜子どもたちから学び大人が育みたいもの〜」で、講師に元全日本女子バレーボール監督の柳本晶一氏を迎え、低迷していた全日本女子バレーをわずか7カ月という短期間でオリンピックで戦えるチームにまで導き成長させたことを中心に講話してくれました。それは、今までの目標であった小さな壁を取り払い大きな目標を意識させると共に、選手は完全選抜に切り替え、モチベーションを持たせたことで結果が得られたということ、私たちの子育てにも通ずると説かれました。

第2部は、引き続き柳本氏も参加した5名のパネルディスカッションでした。パネラーは、柳本晶一氏のほかに、産業カウンセラーで心理相談員の鎌田敏氏、バレーボールでデフレインピック出場歴を持つ岡本かおり氏、大阪府立大塚高等学校PTA会長の里美英一氏、大阪市立高

等学校PTA協議会会計の申明香氏で。里美氏は、長男のいじめ問題で会長を辞めるが、立ち直った彼が自分の労をねぎらい、これまで見てくれたことをうれしく感じて再び会長をやったことを話してくれました。柳本氏は橋本前大阪市長に頼まれ桜宮高校の学校改革に参画し、クラブ活動の垣根を取り払いガラス張りにする事で問題が解決されたことを話してくれました。子育てには親の理想を押し付けず、困っているときに手を差し伸べるようにしたい。そして、子どもは必ずシグナルを発するのでそれを見逃さないように、特に伸びる時を見逃さずにほめるようにして、これからは我が子を見守っていききたい、と考えさせられる講演やディスカッションでした。



第42回近畿地区高等学校PTA連合会大会 大阪大会

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪) 5階メインホール





# クラブ活動の記録 平成28年度6月末まで

## 【体育クラブ】

### ★陸上競技部

「和歌山県高等学校総合体育大会」  
女子走り高跳び 第3位 滝さくら (近畿大会出場)

### ★卓球部

「和歌山県高等学校総合体育大会」  
女子団体 第7位 (近畿大会出場)

### ★ソフトテニス部

「和歌山県高等学校選手権大会」  
女子団体 第5位 (近畿大会出場)

「和歌山県高等学校総合体育大会」  
女子団体 第5位 (近畿大会出場)

### ★バドミントン部

「和歌山県高等学校総合体育大会」  
男子ダブルス 優勝 山本純平・岸部 凌組  
(全国大会出場)

男子シングルス 優勝 山本純平 (全国大会出場)  
第2位 岸部 凌 (全国大会出場)

女子団体 優勝 (全国大会出場)

女子ダブルス 優勝 山下 玄・松下羽衣組  
(全国大会出場)

女子シングルス 優勝 山下 玄 (全国大会出場)  
第2位 松下羽衣 (全国大会出場)

### ★空手道部

「和歌山県高等学校総合体育大会」  
男子個人形 第2位 奥田崇貴 (全国大会出場)

### ★水上競技部

「和歌山県高等学校選手権」水球競技の部 第2位

「和歌山県高等学校総合体育大会」  
水球競技の部 第2位 (近畿大会出場)

水泳競技大会の部  
女子100mバタフライ 第1位 日野遥香  
(近畿大会出場)

女子400m個人メドレー 第3位 日野遥香  
(近畿大会出場)

女子100m背泳ぎ 第3位 生駒有起 (近畿大会出場)

女子200m背泳ぎ 第3位 生駒有起 (近畿大会出場)

女子400m自由形 第6位 西谷紫穂 (近畿大会出場)

女子100m自由形 第7位 西谷紫穂 (近畿大会出場)

女子50m自由形 第7位 坂下玲奈 (近畿大会出場)

女子100m平泳ぎ 第8位 坂下玲奈 (近畿大会出場)

女子400mメドレーリレー 第5位 (近畿大会出場)

女子400mリレー 第6位 (近畿大会出場)



## 【文化クラブ】

### ★美術部

「ゆあさ行灯アート展」  
一般の部 特別賞 木村理奈



### ★囲碁将棋部

「全国囲碁選手権大会和歌山県大会」  
個人戦 準優勝 光定優人 (全国大会出場)

団体戦 準優勝  
「全国高等学校総合文化祭」出場  
県選抜チーム 主将 光定優人 副将 林 佑威

### ★放送演劇部

「NHK杯全国高校放送コンテスト和歌山大会」  
アナウンス部門 第3位 玉置智未 (全国大会出場)

ラジオドキュメント部門 第1位  
作品名「LH」(全国大会出場)

創作テレビドラマ部門 第2位  
作品名「Should I Say No?」(全国大会出場)

## 校内顕彰

### ★スポーツテスト

1年男子 第1位 柳 凌伽 女子 第1位 吉田璃花  
2年男子 第1位 豆塚弘康 女子 第1位 山下 玄  
3年男子 第1位 児島 諒 女子 第1位 笹村里緒

### ★第1回スタサポ

1年総合 第1位 木下陽菜 国語 第1位 久保美緒  
国語 第1位 木下陽菜 数学 第1位 木下陽菜  
英語 第1位 松原彪雅  
2年総合 第1位 沖見開人 国語 第1位 林 芹穂  
国語 第1位 吉田智洋 数学 第1位 沖見開人  
数学 第1位 植木万裕 英語 第1位 本下勇作  
総合上昇 第1位 角野彩乃  
3年総合 第1位 清水悠里 国語 第1位 外江 秀  
国語 第1位 川崎佑華 数学 第1位 清水悠里  
英語 第1位 棚野隼利  
総合上昇 第1位 木村理奈

### ★進研 総合学力記述模試 4月

5教科文系 第1位 清水悠里  
5教科理系 第1位 川崎佑華  
成績上昇 第1位 小池優衣  
国語 第1位 川崎佑華 数学Ⅹ 第1位 清水悠里  
数学Ⅺ 第1位 佐々木麻衣 英語 第1位 山崎晴華

### ★河合塾 第1回全統マーク模試

英語+L 第1位 山崎晴華 数学ⅠA 第1位 馬谷知希 生駒大翔  
数学ⅡB 第1位 岡田勇希 国語 第1位 濱浦伊織 清水悠里

## 文武両道がんばれ!! 保護者からのエール(3)

### \*女子テニス部

夏の暑さ、冬の寒さ、夏負けず、毎日練習を頑張っています。40分かけて自転車で帰宅するのでも、家に着いた時には話をすることも面倒な程クタクタですが、いつも元気で明るく仲間の時間を過ごすクラブ活動の時間は、とても充実しているように思います。6月5日に行われた県高校総体の団体戦では、見事ベスト8に入りました。近畿大会出場が決まりました。それが決まった時の彼女たちの顔は、とても素敵で、目標に向かって頑張った成果です。これを機にもっと仲間との絆を深め、近畿大会ではまず一勝目指して、ケガのないよう頑張ってください。頑張る彼女たちが元気にプレーできるように、応援し、サポートしたいと思います。



松岡 眞規子

### \*吹奏楽部

入部当初は毎日のクラブ活動が体力的にしんどいように思いましたが、今は「クラブをするために学校へ行っている」と思えるくらい楽しいと話しています。楽器のパート練習です。先輩に「いつしよに上達しよう」と言っても練習に励んでいます。6月の文化祭では、1年生にも舞台発表の機会を与えていただき、楽器とダンスの練習に一生懸命取り組んでいます。文化祭当日の演奏やダンスは一体感があって、吹奏楽部のチームワークの良さが伝わってきました。吹奏楽は、それぞれの楽器が集まり全体でひとつの音楽を奏でていきます。クラブ活動を信じて、演奏技術の上達だけでなく、人との信頼関係を築いて、結果を出すことの素晴らしさを体験してもらいたいと思っています。



古田 順子



# 平成28年度 文化祭 6月16日・17日

## テーマ「CCC」 (Chance, Challenge, Change)



今年の文化祭は、限られた準備期間を短期集中的に取り組み、クラスの課題をあぶり出し、より良いクラス作りにつなげていくことを目標のひとつとしていました。1年生は各クラスが工夫して個性と団結をアピールした展示でした。あいにくの雨にも負けず、3年生の模擬店は趣向を凝らした店構えと豊富なメニュー、何よりも優れた味付けで、訪れるお客を魅了しました。そして圧巻だったのは2年生の舞台発表。ストーリー性やエンターテインメント性、そして本格的な演技力。すべてにおいてレベルアップしたパフォーマンスは体育館内を歓声と感動で満たしました。



2年ぶりとなったPTAの「熊本地震支援バザー」、今年度初めて試みた「PTAカフェ」も大盛況で、236名の保護者が訪れてくれました。

二日目の全体鑑賞では文化クラブ、音楽選択生徒による舞台発表、そして舞台部門1位とPTA特別賞クラスの舞台発表再演を楽しみました。生徒・保護者・教員が三位一体となれた、心に残る2日間でした。



### 文化祭表彰

|       |        |                                   |
|-------|--------|-----------------------------------|
| 展示部門  | 優勝     | 1年6組「16 (ワン・シックス)」                |
|       | PTA特別賞 | 1年5組「男女逆転森デレラ!!<br>～あの有名なCMを添えて～」 |
| 舞台部門  | 優勝     | 2年6組「竹より男子 (だんご)」                 |
|       | PTA特別賞 | 2年1組「ライオンキング」                     |
| 模擬店部門 | 優勝     | 3年5組「後藤丸」                         |
|       | PTA特別賞 | 3年4組「柴田堂」                         |

# ロングハイキング 4月27日・28日

32.8キロを歩いてゴールする「ロングハイキング」は、37年の長い歴史がある耐久の名物行事です。今年度入学生から、4月末実施と変わりました。この狙いは、入学当初に耐久の伝統行事を経験させることで、耐久生としてのアイデンティティを持たせ、これからの3年間で頑張っていこうという意欲と決意を固めるためです。初日、高野山大学体育館で、集団行動やマナー指導、校歌指導を徹底的に行いました。これは今回のロンハイからの企画で、生徒たちは張りつめた緊張感の中、あらん限りの声と集中力で、学年、クラスの一体感を体得しました。

そして、ロンハイ本番の二日目、前日から降り続いた雨がスタート時にはやみ、青空さえ見えはじめるといふ奇跡。仲間を思いやり、励まし合いながら、耐久生としてのつながりをかみしめながら、無事にゴールインすることが出来ました。なお、今回のロンハイから、オリジナルタオルが配布されています。

